

肝炎患者等支援対策事業費（見直しの方向性）

1. 事業の課題点

（1）肝疾患診療連携拠点病院向け事業

- 相談件数が伸び悩むなど、期待される役割に対して、肝疾患診療連携拠点病院の取組みが不十分で、**拠点病院間で格差が生じている**

（2）都道府県向け事業（普及啓発）

- 重症化予防の推進の観点から、陽性にも関わらず医療機関を受診していない者が多いことに対処するため、広報の充実が求められている
- 国・都道府県の役割分担により、**事業を効率的に行うことが課題**になっている

2. 見直しの視点

質の高い肝炎医療提供体制に改革

- ✓ 全国どこでも質の高い肝炎医療や相談を受けられるよう、**肝疾患診療連携拠点病院の全体の水準を引き上げる**
- ✓ 肝炎医療及び相談体制の質の充実を目指し、**肝炎情報センターの機能強化を図る**

肝炎予防・肝炎医療の強力な推進に寄与

- ✓ 国の広報事業である「知って、肝炎プロジェクト」と**都道府県事業の密接な事業連携の構築**を行う
- ✓ 特に、都道府県において**陽性者の受療促進のため取組を強力に推進**する

平成28年度概算要求に反映（肝炎克服に向けた事業の構造改革）